

第 7 回 韓日原子力産業세미나 確定

基調테마: 原子力發電의 當面課題

日 字: 1985年10月29日(火)~30日(水)

場 所: 韓國 서울 웨라톤워커히호텔

韓·日 兩國의 原子力産業會議가 定期的으로 매년 開催하는 韓日原子力産業세미나의 今年度(第7回) 日程과 兩國 發表者 등 基本計劃이 確定되었다.

當 會議 韓日協力委員會 準備會議의 審議를 거쳐 日本原産側과 協議한 결과, 第7回 세미나는 「原子力發電의 當面課題」를 基調테마로 10月29日(火)과 30日(水) 兩日間 서울 웨라톤워커히호텔에서 開催하기로 하고 産業視察은 세미나가 끝난 후 10月31日 및 11月1, 2, 3日 實施하기로 하였다.

《프 로 그 램》

■ 1985年10月29日(火) ■

◇ 開會 Session

議長 金善昶(韓補(株) 社長)

韓國側 人事 朴正基(韓國原産 會長)

日本側 人事 石橋周一(日本代表團 團長)

特別講演: 「原子力發電의 經濟性」

生田豊朗(日本에너지經濟研 理事長)

「韓國에 있어서 原電의 運轉實績과 開發計劃」 閔景植(韓電 專務)

◇ Session 1: 放射性廢棄物의 處理·處分

議長 那須速雄(日本NUS(株) 理事)

「韓國에 있어서 放射性廢棄物處理·處分 基本方向」 朴憲輝(韓國에너지研 室長)

「日本에 있어서 低레벨放射性廢棄物의 處理·處分」 金田久(日本原燃産業(株) 理事)

「高레벨放射性廢棄物處理·處分の R & D」

◇ Session 2: 核燃料成型加工 國産化 經驗

議長 金東勲(韓國에너지研 先任研究部長)

「日本의 核燃料成型加工의 발자취」

「韓國에 있어서 核燃料成型加工의 國産化 經驗」 徐庚洙(韓國에너지研 部長)

「韓國에 있어서 輕水爐用核燃料의 國産化計劃」 李宜謙(韓國核燃料(株) 理事)

◇ Session 3: 原子力發電所의 標準化

議長(日本側)

「韓國의 原電標準化研究 方向」

朴 隆(韓電技術(株) 室長)

「日本의 輕水爐改良標準化計劃, 經驗 및 展望」 岡島弘之(中部電力(株) 次長)

「日本 PWR原電 改良標準化와 技術開發」

「日本 BWR原電 改良標準化와 技術開發」

■ 1985年10月30日(水) ■

◇ Session 4: 原子力發電所의 經濟性 向上

議長 李宗勲(韓電 副社長)

「輕水爐(PWR)의 設備信賴性 向上活動」

吉川雄一郎(關西電力(株) 次長)

「韓國의 原電定期補修經驗 및 問題點과 對策」 徐錫天(韓電 處長)

「輕水爐(BWR) 稼働率向上 對策과 展望」

栗原裕(日本原子力發電(株) 副部長)

◇ Session 5: 總括討論

共同議員 金鍾珠((株) 무디코리아 會長)

中村康治((株) 神戶製鋼所 顧問)

發表者全員 및 패널리스트

徐引錫(韓國에너지研 部長)

金炳九(韓國에너지研 部長)

金琮琛(韓電 處長)

章榮南(韓電技術(株) 部長)

韓均錫(韓補(株) 部長)